

授 業 科 目 名	教育相談の基礎 (Foundation of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801511	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 C	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	佐藤 有耕 (人間系学系棟 A344 yuhkohst@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火曜日 11 時 40 分～12 時 00 分		
授 業 の 到 達 目 標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。		
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。		
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論 第2回:適応・不適応とは? 心理的適応, 適応機制, 不適応, 学校ストレスの概念 第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か? 第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法, 作業検査法, 質問紙法 第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件 第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的アプローチなど 第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・アプローチなど 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ 定期試験		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト			
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 西川隆蔵(2014). 『教育相談基礎論』関西学院大学出版会 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	講義の中で適宜、提出課題を出します。課題に取り組むことで、教育相談について自分なりに考えてもらいます。特別な予習の必要はありませんが、講義内容を良く聞いて、講義時間外に自分で考え、それをレポートするという学習を行ってもらうことになります。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	話を聞く、考える、書く、調べる、話し合う、などの多様な手段による積極的な学びを期待します。その一環として、教育相談に関連する心理学の研究を経験するために、質問紙調査等への回答協力を依頼することがあります(強制ではありません。回答への協力は自由です)。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。 1・2年生は履修できません。		

授 業 科 目 名	教育相談の基礎 (Foundation of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801521	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	火曜・5 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	沢宮 容子		
オ フ ィ ス ア ウ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。		
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。		
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論 第2回:適応・不適応とは? 心理的適応, 適応機制, 不適応, 学校ストレスの概念 第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か? 第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法, 作業検査法, 質問紙法 第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件 第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的アプローチなど 第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・アプローチなど 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ		
成 績 評 価 方 法	授業中に実施する小テスト、レポート等により、到達目標の基準に照らして成績評価を行う。		
テ キ ス ト			
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 西川隆蔵(2014). 『教育相談基礎論』関西学院大学出版会 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	事前に次回の学習範囲を予習し、関連する文献を調べて読み込むこと。 毎回設定される課題と、レポート等に取り組むこと。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	積極的な受講態度をのぞみます。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。 1・2年生は履修できません。		

授 業 科 目 名	教育相談の基礎 (Foundation of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801541	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 AB	曜 時 限	火曜・6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	沢宮 容子		
オ フ ィ ス ア ワ ー			
授 業 の 到 達 目 標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。		
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。		
授 業 計 画	第1回:生徒理解の理論 第2回:適応・不適応とは? 心理的適応, 適応機制, 不適応, 学校ストレスの概念 第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か? 第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法, 作業検査法, 質問紙法 第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件 第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的アプローチなど 第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・アプローチなど 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ		
成 績 評 価 方 法	授業中に実施する小テスト、レポート等により、到達目標の基準に照らして成績評価を行う。		
テ キ ス ト			
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 西川隆蔵(2014). 『教育相談基礎論』関西学院大学出版会 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	事前に次回の学習範囲を予習し、関連する文献を調べて読み込むこと。 毎回設定される課題と、レポート等に取り組むこと。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	積極的な受講態度をのぞみます。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談Ⅱに対応。 1・2年生は履修できません。		

授 業 科 目 名	教育相談の基礎 (Foundation of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801551	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	春 C	曜 時 限	月曜・5、6 時限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	佐藤 有耕 (人間系学系棟 A344 yuhkohst@human.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	火曜日 11 時 40 分～12 時 00 分		
授 業 の 到 達 目 標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。		
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。		
授 業 計 画	<p>第1回:生徒理解の理論</p> <p>第2回:適応・不適応とは? 心理的適応, 適応機制, 不適応, 学校ストレスの概念</p> <p>第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か?</p> <p>第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法, 作業検査法, 質問紙法</p> <p>第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論</p> <p>第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件</p> <p>第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法</p> <p>第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的アプローチなど</p> <p>第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・アプローチなど</p> <p>第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ</p> <p>定期試験</p> <p>* 2020 年度に限り、期末試験を行うために、以下のとおり10回分の授業時間を確保し教育の質の実質化を図ります。すなわち、(月曜 5・6 限)+(16:30-16:45)×5週=計10+1 回分として、75 分1回分の授業を 15 分×5で確保し、春C5週の中で全10 回分の授業時間及び期末試験を実施します。最終日の 16:45-18:00 の範囲内で期末試験を行います。</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト			
参 考 文 献	<p>文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書</p> <p>西川隆蔵(2014). 『教育相談基礎論』関西学院大学出版会</p> <p>石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版</p> <p>庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版</p> <p>桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	毎回の講義の最後に、提出課題を出します。課題に取り組むことで、教育相談について自分なりに考えてもらいます。特別な予習の必要はありませんが、講義内容を良く聞いて、講義時間外に自分で考え、それをレポートするという学習を行ってもらうことになります。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	話を聞く、考える、書く、調べる、話し合う、などの多様な手段による積極的な学びを期待します。その一環として、教育相談に関連する心理学の研究を経験するために、質問紙調査等への回答協力を依頼することがあります(強制ではありません。回答への協力は自由です)。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談 II に対応。 1・2 年生は履修できません。		

授 業 科 目 名	教育相談の基礎 (Foundation of Educational Counseling)		
科 目 番 号	9801561	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	3 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜 5・6 限
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	青木 佐奈枝		
オ フ ィ ス ア ワ ー	木曜日昼休み		
授 業 の 到 達 目 標	(1)生徒理解の意義を説明できる。 (2)適応・不適応の概念を理解し、学校での子どもの適応について具体的に説明できる。 (3)心理アセスメントの理論的背景を理解し、心理テストの種類と活用法について説明できる。 (4)カウンセリングと様々な心理的支援法を理解し、活用法について具体的に説明できる。		
授 業 の 概 要	教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。		
授 業 計 画	<p>第1回:生徒理解の理論 第2回:適応・不適応とは？心理的適応、適応機制、不適応、学校ストレスの概念 第3回:心理アセスメントの理論と方法 1 心理検査法とは何か？ 第4回:心理アセスメントの理論と方法 2 投影法、作業検査法、質問紙法 第5回:カウンセリングの理論と技法 1 カウンセリングの理論 第6回:カウンセリングの理論と技法 2 カウンセラーの態度条件 第7回:カウンセリングの理論と技法 3 カウンセリングの諸技法 第8回:様々な心理的支援法 1 行動療法的アプローチなど 第9回:様々な心理的支援法 2 グループ・アプローチなど 第10回:様々な心理的支援法 3 予防教育などその他のアプローチ</p> <p>定期試験 オンライン授業の種類・方法:オンデマンド方式 MS Stream による配信(期間 1 週間) Teams 上に作成された本科目のチーム(9801561 教職科目「教育相談の基礎」秋 C 火曜 5・6 時限:チームコード (lr70lyg) の登録者限定で配信。受講生は必ず本チームに登録すること 講義資料配布方法:この科目の manaba のコンテンツに添付</p>		
成 績 評 価 方 法	試験を実施。試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	教育相談 (MINERVA はじめて学ぶ教職 16) ミネルバ書房 本科目の manaba の respon により毎回の出席確認を行う 単位取得には 6 割以上の出席が前提 manaba 上での期末レポート(小テスト含む)による評価 詳細は後日 manaba 上で告知する		
参 考 文 献	文部科学省(2010)『生徒指導提要』教育図書 石隈利紀・庄司一子(編著)(2014)『生徒指導とカウンセリング』協同出版 庄司一子(監修)(2015)『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』ナカニシヤ出版 桑原知子(1990)『教室で生かすカウンセリング・マインド』日本評論社		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかりと行い、わからない点があれば、そのまま放置せず、教員に積極的に質問したり、図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	事前にテキストを読んでおくこと。わからない点があれば、積極的にご質問ください。		
備 考	旧課程の生徒指導・教育相談 II に対応。 1・2 年生は履修できません。		